

## 第二十九回企業活性化研究分科会・議事録

<第二十九回 2010年3月13日(土) 時間:13:30~16:00 於:専修大学(神田校舎)>

1. 参加者:井端、魚谷、太田、大柳、齋藤、菅原、杉本、高市、古山、星野、宮川、山本、横山、依田、渡邊
2. テーマ:企業活性化に関する研究
3. 発表内容  
テーマ①:『“Turnaround Strategies” by Charles W. Hofer』についての英訳および検討  
・報告者:宮川宏(専修大学大学院)
4. 発表内容  
テーマ②:『粉飾企業の分析』  
・報告者:魚谷竜也(キャノンマーケティングジャパン株式会社)  
・配布資料:2枚  
・報告内容の要旨  
本報告は、平成20年3月期の会計監査において過年度における棚卸資産の過大計上や店舗改装費の架空計上等の不適切な会計処理が判明した株式会社アリサカ(以下、「同社」という。)について、同社の粉飾・破綻の経緯を検証したものである。また、このような粉飾を事前に避けるための対策についても考察している。  
分析に関しては、売上高の推移、営業利益の推移からリース料・地代家賃・減価償却が同社の会計数値上大きな影響を及ぼすものとして注目している。そして、キャッシュ・フロー計算書の数値と棚卸資産の回転率を分析することにより、同社は売上原価を過少に見せかけるため、減価償却費の償却開始期間の先延ばし・売上原価と認識させるべき費用を棚卸資産として不正に計上し、売上原価を不正に改ざんしたものと推察している。
5. その他  
次回以降の日程  
・5月22日(土) 専修大学(神田校舎)  
・6月5日(土) 年次大会(桜美林大学)  
・7月10日(土) 専修大学(神田校舎)

(文責:齋藤幸雄)